第 26 回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会　大会要項（案）
第 59 回沖縄県中学校春季軟式野球大会
（第 36 回全日本少年軟式野球大会沖縄県予選大会）

１．主　　催　　沖縄県野球連盟
２．共　　催　　琉球新報社
３．主　　管　　沖縄県野球連盟
４．協　　賛　　沖縄海邦銀行
５．後　　援　　南城市教育委員会、南風原町教育委員会、豊見城市教育委員会、与那原町教育委員会
八重瀬町教育委員会

６．期　　日　　平成３１年３月２日（土）　３日（日）　　予備日１６日（土）

７．日　　程　　２日(土)　開会式　　８：００～『黄金森野球場』［雨天時：陸上競技場会議室］
選手集合　７：３０　『黄金森野球場』
監督会　　７：３０　『黄金森野球場　陸上競技場会議室』
２日(土)　１回戦・２回戦　　競技開始　１０：３０
３日(日)　準決勝・決 勝・閉会式　　競技開始　　９：００

８．会　　場　　２日(土)　『新開球場』『黄金森野球場』『瀬長島野球場 A』『瀬長島野球場 B』
３日(日)　『新開球場』
※大会運営上、日程変更や会場を変更または移動しての試合もあり得る。

９．参 加 資 格　　(1)沖縄県内の中学校に在籍する１・２年生の生徒で編成されたチームで各地区の代表となったチームとする。なお、１校１チームとする。
(2)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿であること。
(3)硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
(4)１チームは選手２０名、監督１名、コーチ２名、記録員１名の計２４名以内とする。
(5)選手の引率、監督は出場校の校長・教職員とする。教員以外のコーチについては学校長が認めた者で、地区・県に登録された者とする。但しベンチ入りについては１名のみとする。
(6)参加資格の特例を認める。「開催基準８(6)複数合同チーム」

10. 出場チーム　　県内７地区代表１６チーム

地　区	国　頭	中　頭	那　覇	久米島	島　尻	宮　古	八重山	計
割当数	3	5	3	1	2	1	1	１６

11. 競 技 規 則　　(1)2018 年公認野球規則ならびに 2018 年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携および本大会特別規則に則って行う
(2)競技方法はトーナメント方式とする。
(3)試合は７回戦とし、得点差によるコールドゲームは３回以降１０点差、５回以降７点差とする。また、日没、降雨のコールドゲームについては全試合５回以降成立とする。日没・降雨などで試合が成立しない場合は特別継続試合(ｻｽﾍﾟﾝﾃﾞｯﾄｹﾞｰﾑ)を適用する。
(4)７回を終了して同点の場合は８回からタイブレーク方式とする。10 回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまでタイブレーク方式を続行する。
※天候の都合で日程変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。
(5)背番号は１～２０番を使用し、原則としてポジション順とする。
(6)（別紙「投球制限に関する確認事項」参照）
(7)申告故意四球を適用する。

12. 使　用　球　　全日本軟式野球連盟公認（ナガセケンコーボール M 号球）とする。

13. 組み合わせ　　平成３１年２月１４日（木）沖縄市武道場会議室において本部抽選により決定し、後日、沖縄県中体連野球専門部 HP（**http://www.geocities.jp/okifffbb2007/**）にて発表する。

14. 表　　彰　　(1)優勝校には優勝旗、優勝盾、賞状を授与する。
(2)準優勝校には準優勝盾、賞状を授与する。
(3)３位表彰も行う。

15. 参加申し込み　　(1)出場資格を得たチームは沖縄県中体連野球専門部 HP（**http://www.geocities.jp/okifffbb2007/**）より所定の大会申込用紙に必要事項を記入し捺印を受け、大会参加料五千円を添えて２月１４日(木)までに嘉数中学校へ直接持参するか、郵送で申し込むこと。なお、大会冊子用データを２月１３日（水）までにメール送信すること。（**okifffbb2007@yahoo.co.jp**）
(2)選手変更届は、沖縄県中体連野球専門部 HP よりダウンロードし、校印を押印して、原本１部コピー４部を開会式当日に本部へ提出する。
【申込先】　〒９０１－２２１４　沖縄県宜野湾市我如古４２３番地　宜野湾市立嘉数中学校
沖縄県中学校体育連盟野球専門部長　島　健太　宛

・

16. 旅費宿泊費　　本大会における旅費・宿泊費はすべて参加チームの負担とする。

17. その他　(1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。
(2)大会出場中の選手の傷害は、大会本部において応急処置を行い、後は各学校で処理する。
(3)大会参加の際、健康保険証のコピーを持参すること。
(4)優勝チームには第３６回全日本少年軟式野球大会（平成３１年８月横浜スタジアム開催）への出場資格を与える。

第 26 回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会　競技規則
第 59 回沖縄県中学校春季軟式野球大会
（第 36 回全日本少年軟式野球大会沖縄県予選大会）

１．試 合 時 間　(1)試合は１時間３０分と計算し、その６０分前までには集合する。

２．オーダー交換　(1)オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。（５部提出）
(2)攻守決定は前の試合の４イニング終了時（第１試合は試合開始４５分前）に監督立ち会いの上主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
(3)全試合終了後、勝利校の校歌斉唱を行う。参加校は校歌の CD（１番のみ）をオーダー交換時提出する

３．ダッグアウト　(1)抽選番号の若い方が１塁側とする。但し同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
(2)ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
(3)ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。（ベンチ内１個とする。）

４．シートノック　(1)シートノックは、１回戦と準決勝のみ後攻より行う。時間は５分間とする。但し天候や時間等の理由などからシートノックを行わない場合もある。
(2)シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。なお、ユニフォームを着用した登録外の生徒（５名以内）を認める。
(3)ノッカーは、ユニフォームを着用する。

５．応　　援　(1)中学生にふさわしい応援をする。
(2)応援は攻撃側のチームが優先に行う。

６．守備側と攻撃側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、１試合に投手の所へ行ける回数は、７イニングで３回以内とする。
なお、タイブレーク方式となった場合は、２イニングに１回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。

７．監督が投手の所へ行く回数の制限
監督が、１試合に投手の所へ行ける回数は、７イニングで３回以内とする。なおタイブレーク方式となった場合は、２イニングに１回行くことができる。
監督が同一イニングに同一投手の所へ２回目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。

８．用　　具　(1)バットリング、トレーニングバットの使用を禁止する。（但し、マスコットバットは使用可）
(2)手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。
(3)ストッキングの形をしっかりと統一する。
(4)全日本軟式野球連盟公認マーク（J.S.B.B.）が完全に消えた用具は使用できない。
(5)捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク（J.S.B.B.）が入った捕手用ヘルメット・マスク・スロートガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク（J.S.B.B.）が入った両側にイヤーフラップ（内側にはスポンジ等）のついたヘルメットを使用すること。

９．試合のスピード化
(1)ベースコーチ・打者・次打者の４名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。
(2)投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
(3)捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
(4)次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
(5)サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見る。

10．そ　の　他　(1)チームの選手（監督・コーチ含む）は同色、同形のユニフォームを着用する。グランドコートも同様とする。尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。コーチ（教職員）の服装は平服(白を基調としたポロシャツ・同一の野球帽)とする。また、記録員はユニフォームか制服とする。
(2)選手交代は、監督が球審に告げること。
(3)球場内においての試合前の練習はユニフォームを着用すること。
(4)芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。
(5)試合中のアップ（キャッチボール）については２組（４名以内）とする。
(6)大会運営上、天候によっては場所を移動しての試合もあり得る。
(7)各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドを清掃する。